



姦獄塔の甘美な七日間

Master Edmond  
FGO unofficial fanbook #02

R18



そうだ



ここは…

ここは…

牢獄…?



威勢がいいな  
仮初めのマスターよ

だが今は  
アヴェンジャーと  
だけ伝えておこう



誰だ  
おまえは!?

…マシユは!?

カルデアは!?



出られない部屋

セックスしないと



：簡単に名前を教える気は無いですか？

それにしても...  
ここは一体どこなんだ!?



聖杯を手にした腐女子の願望が実現した世界が...



監獄塔シャトー・ディフをモデルにデザインされた性の牢獄(監獄塔)

そう、ここは通称



なっ何するんだ  
突然……!?

まず

おまえの魂は  
この姦獄塔に  
囚われた



えっ……え!?  
ドキ  
ドキ

脱出のためには  
七つの『扱きの間』を  
越えねばならん

扱きの間で  
俺(男)相手に  
射精できなければ  
おまえは死ぬ

ナニもせずに  
七日目を迎えても  
おまえは死ぬ

——以上だ。

※この本のくだ男くんはノンケです(まだ)



さあな!

はは



なんでそんな  
こと……!?

まあ：  
イキ残れば  
おまえは多くを  
知るだろう

多少(?)  
歪んでいても

此処はそういう  
場所だからな

俺は  
気の向くまま

おまえの肉体を  
翻弄するまでだ

第一の間は  
初回サアビスで  
接吻のみと  
なっている



おず...

先輩  
大丈夫ですか？

何やら  
ぼうっとして  
いましたが...

せしほこ

せしほこ



そりゃ...

顔は綺麗  
だったけどさ...

ムキ  
ムキ



カルデアに  
戻ってきたんだ...

先輩!?



男とキス  
しちやったなんて  
恥ずかしくて  
誰にも言えない

ファーストキス...  
だったのに...





ちぢちゃった

.....?

.....!  
!?



ううう...

ちぢちゃった

だって...



随分と早かった  
な.....(困惑)

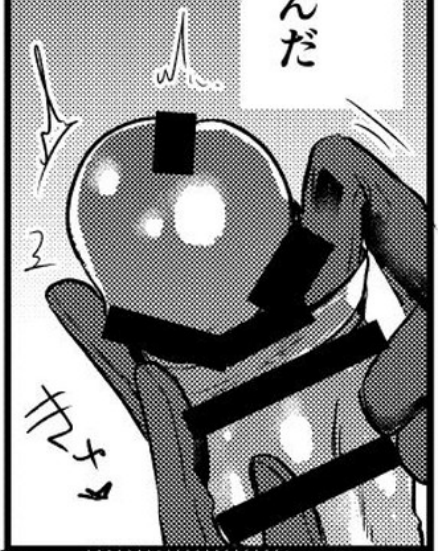
男相手に  
射精したか

あんなに  
不安がって  
いたくせに...



※回想入ります

知らな  
かったんだ



なんだ  
ちゃんと反応  
するじゃないか

こんなに  
澄ました顔で  
しゃぶるなんて

こんなに  
気持ちいいなんて  
知らなかったんだ



そして  
1ページ前に  
戻る(射精)

それから  
オレは毎晩のように

### 第三の扉 『手淫』

この謎の英霊とエッチな  
ことをさせられた…

### 第四の扉 『髪コキ』

俺のような  
大の男の足ですら  
興奮するか  
浅ましい情欲を  
吐き出せ！  
それがここにおいて  
おまえにとって  
唯一の希望だ！

### 第五の扉『足扱き』



だ、大丈夫  
ですす

射精した瞬間  
カルデア戻るの  
心臓無理すぎ



大丈夫!?

あれ?もしかして  
この遊撃!夢精!?

途中で突然  
カルデアに意識が戻り  
ドクターに心配されたり  
しながらも

### 第六の扉『素股』



こんなに  
汚して……

それぞれの日の  
性ミッション(?)を  
クリアしていき



クハハ:  
腰使いが上達  
したな



オレは次第に男相手に  
射精することへの  
抵抗感が薄れていった

射精したのに  
まだ動くか……  
面白い!



彼のことを……



それどころかオレは……



# 姦獄塔 7 夜目 第七の扉『挿入』

遂に  
七日目まで  
来たか

ここが  
俺とおまえにとって  
最後の間になる



……

ここから出るためには  
今まで通り射精を——

待ってくれ

それは……  
ダメかな？

オレは……君と  
ここから  
一緒に行きたい

そして  
イキたい

〇〇

おまえの童貞を  
今から奪う俺と  
一緒に出たいだど？

笑わせる  
なよ

今この瞬間  
この場でおまえに  
できることは  
ただひとつ

「待て、しかして希望せよ——」

昨日までと同様  
俺の中に欲望を  
吐き出すことだけだ

だが、  
もしも……！

おまえがオレと  
生(イ)(行)きたいと  
叫ぶのならば!

オレを!  
イかせろ!

今までのように  
オレはおまえを  
導いたりなどしない

ならばこそおまえの  
望む通りに動くとい

アヴェンジャー……!

うわ



そんなことでは  
俺とイカせることは  
出来んぞ

どうした？  
呆けた顔をして

このままじゃ  
いつも通りに  
やられっぱなしに  
なっちゃう



オレが君を抱くんだ!

はあっ  
はあっ

いつもなら  
このあたりで  
達しているのに…

こいつの熱が  
伝わってくる  
こんなにも  
まっすぐな…

何度も汚したはずが  
一切濁らぬこの瞳に

己の姿がまるで  
別人のように映っていた



心も身体もつながって  
君の気持ちかわかる  
君の声が聞こえる

アヴェンジャー、  
君の名前は……!

姦獄塔のアヴェンジャー

真名

巖窟王 エドモン・ダンテス

快楽が一気に  
溢れてゆくだど!?

なんだ……!?

無意識に  
締め付けてしまおう





中に射精すよっ……!

俺の負けだ…♡  
そしておまえの…

勝利だ…♡

キミの身体が  
消えていく…!!?

ああ俺は俺の役目を  
果たしたのだからな

腐女子の願望は  
ここに敗れたのだ

(ごめん叶った…)

そんな…  
オレはキミと  
ここから出たくて…

再会を望むか?  
おまえは俺と…  
ならば

— 待て、  
— しかして希望せよ

だ…

先輩…

ああ、オレ…

良かったです、  
無事で……!!

本当に  
よかったよ…

早速身体に異常が  
ないか調べよう!

やっぱり顔つきが  
男らしくなったな…  
(何となく)

カルデアに戻って…





こうして  
オレと彼の

二人しか知らない  
7日間は終わった



確かな繋がりをもって  
いつかまた会えると確信して――